

コミネット宝木だより

「地区住民の集い」開催!

5月実施のアンケートが纏まりました
ご協力ありがとうございました。今後のまちづくりの参考とさせていただきます。



構成員への報告会を経て、地区住民の集いを開催し、より多くの方に周知することをめざしました。

地区民43名の参加があり、設問をひとつひとつ説明し、問題点などの意見交換をしました。

鳥取市役所より協働推進課コミュニティ支援室安本室長・コミュニティ支援チーム吉村康義リーダーの助言をいただきました。

意見抜粋(後日意見も含む)

- ・まちづくり協議会がサークル(仲良しグループ)であって欲しくない
- ・ボランティアの醸成する場と思っている
- ・寄付等を集められるようなことがないよう願っている
- ・村単位で村づくりができていない
- ・高齢者、若い人が別々に活動している。一緒にしたいができない
- ・サロンではサポートする人がいなく、出来なくなると言う危機があった
今年、老人たちが主体となり、自分たちが働き、うまく回っている
- ・村々がうまく回れば、まちづくりも回る
- ・一部の人の会でないように浸透して欲しい
- ・宝木で生まれ、宝木で死ぬという循環型社会を作る必要がある
- ・ないものを利用しようとしなくて、宝木にあるものを使い循環型へ
- ・結果をどのように知らせるのか 部落で実態を知ってもらう必要がある
- ・公民館、ふれまち、コミネットの違いを住民はわかっていない
- ・宮吉城址に桜を植え、憩いの場に → 先人たちも試みたが出来なかった
- ・河内川河川敷、土手を利用し、自転車コースなど作っては
- ・若者の集まる場を作って欲しい
- ・認知症の数が多い。取り上げる必要がある
- ・少子化対策が一番では
- ・河内川土手に桜の木を植樹しては



企画検討委員会 開催 いよいよ「コミュニティ計画作成」へ

企画検討委員

夏ヶ谷	秋山智博
常松	北村 公
富吉	森本幸子
宝木	米田克彦
	西田哲夫
奥沢見	水田 允

アンケート集計
一歩一歩前進

一人でも多くの方へ周知したいと、十月九日(金)構成員への中間報告会、十一月二十九日(日)地区住民の集いを開催しました。アンケート配布・回収・集計・公表と五ヶ月経過しました。

その間、月二回程度の役員会を開催し、集計内容を吟味しながら宝木地区に何が足りないのか、何が必要なのを探ってきました。

住民の皆様の意見を参考にしながら、安心安全のまちづくりを実施していききたいと思います。

12月3日(木)・17日(木)と企画検討委員会を開催しました。

メンバーは上記の方と役員12名です。ワークショップ形式で問題点を出し合い、課題を纏めていきました。

今後、回を重ね今年度中には「宝木地区コミュニティ計画」(案)を作成する予定です。



第2回企画検討委員会は、みぞれが舞う寒い夜でした。今までの問題点を表に表しながら慎重審議して頂きました。



地区住民の集いの様子

アンケート記述紹介 抜粋

- Ⅱ-1 宝木の住みやすいところ
- ・食べ物おいしい、魚が新鮮
 - ・駅が近い、国道が近く鳥取市内まで車で早く移動できる
 - ・近所が離れている
 - ・都会っ気がない
- Ⅱ-2 宝木が住みにくいところ
- ・人が少ない
 - ・田畑が多い。日照時間が長い
 - ・医者がなく不便
 - ・街灯が少ない
 - ・災害時の対応が整備されていない
 - ・近所付き合いがなくなった。特に若い人は愛想も
 - ・子どもが少ない
 - ・店がない。ナイナイづくしの地区